

3年生および保護者の皆様へ

日本学生支援機構（JASSO）の大学等予約奨学金の申込みについて

休業が長引くことによって、日本学生支援機構（JASSO）の書類配布と説明ができない状態が続いています。

1. とりあえず、本年度の日本学生支援機構の大学等予約採用奨学金のスケジュールをお知らせします。＜3回目＞は追加された日程です。

＜1回目＞ 5月31日（インターネット入力メ切） 10月下旬（採用決定）

＜2回目＞ 6月30日（インターネット入力メ切） 11月下旬（採用決定）

＜3回目＞ 7月31日（インターネット入力メ切） 12月下旬（採用決定）

何回目の申込みでも有利・不利の違いはありません。

2. 書類配布と説明会について

①5月11日から学校が再開される場合。

再開後すぐに説明会を開いて書類を配布します。事前に学校メールでお知らせして、「健康調査」のような形で参加希望者数を確認させてもらい、説明会の日程を決めます。

②連休中に5月11日以降の休業延長が決定され、奨学金の説明会のための登校が可能である場合。

①の場合と同じように、事前に学校メールでお知らせして、（5月7日発信予定「健康調査」のような形で）参加希望者数を確認させてもらい、説明会の日程を決めます。5月11日に学校ブログ上でクラスごとに来てもらう日時をお知らせします。5月12日ごろから分散登校による説明会を順次開いていきたいと思えます。

ただし、下に記していますようなケース以外の人については、入力や手続きにはできるだけ、2回目以降の申し込みに回ってください。

③5月11日以降の休業延長が決定され、奨学金の説明会の参加希望者全員の登校が認められない場合。絞った人数だけ学校で対応。

下に記していますような、早めに目途を立てる必要のある人については1回目の申し込みから個別に対応したいと考えています。5月11日か12日に進路指導部に電話をかけてご相談ください。

1回目から申し込んだほうがいい場合

A0入試や指定校入試、公募推薦などは年内に合格が決定し、早い時期に入学手続きのためのまとまったお金が必要となります。日本学生支援機構（JASSO）の奨学金は実際に振り込まれるのは、来年の4月下旬以降ですので、日本学生支援機構（JASSO）の奨学金を使ってそれらの入金に充てることはできません。それには学資保険や「国の教育ローン（日本政策金融公庫）」を利用されておられる場合が多いです。

一方、経済条件で「国の教育ローン」などを利用できないこともあります。日本学生支援機構の月々の貸与奨学金の申し込みの際に「入学時特別増額貸与奨学金（50万円まで）」も申し込んで採用され、経済条件で「国の教育ローン」を利用できないとき、ろうきん（労働金庫）から「入学時特別増額貸与奨学金（50万円まで）」を担保にして融資（「つなぎ融資」）を受けられる場合があります。

1回目の採用結果が10月下旬、2回目の採用結果が11月下旬になりますので、早い時期に進学先が決まり、手続きも時期が早い場合、ろうきん（労働金庫）からの「入学時特別増額貸与奨学金（50万円まで）」を担保にした融資（「つなぎ融資」）を利用すること考えられます。

3. 参加申し込みについて

休業について確定した後、5月7日に再度学校メール・学校ブログで説明会についてお知らせして、出席についてお聞きします。